

全校朝会（師走）

2018. 12. 3

6年生に：2学期のめあてとふりかえりについて聞きました。

今週から12月・・・、2学期のまとめの時期です。自分のめあてが、できたかどうか振り返りをして、まだできていないところは、達成させるように努力しましょう。達成できた人は、次に何をめあてにしたらいかを考えて、次の取り組みを始めましょう。

さて、みなさんは、12月のことを「しわす」とか「しはす」ともいうということを知っていますか。師走というのは、こう書きます。なぜ「師走」というかは、いろいろな説があります。「師」というのは、学校の先生だとか習い事の先生だという人もいますが、お坊さんという話も聞いたことがあります。昔は、12月にお坊さんがそれぞれの家を回ってお経をあげることをしていて、たくさんの家を回らなくてはいけないので走っている様子から、師であるお坊さんが走るで「しわす」と呼ばれるようになったという説、「し」というのは「しごと」のことで、「はす」というのは「終わる」という意味で、1年の仕事が終わるということを表している説もあります。

戸三小でも1年のまとめをして、気持ちよく新しい年を迎えられるといいなと思います。めあての振り返りだけでなく、教室や家、自分の持ち物の掃除や整理整頓もしておくといいです。昔から12月には、煤払いという行事があります。大掃除もあります。これは、1年間ありがとうございますという感謝と新しい年の幸せを願うもので、たくさんの方の気持ちが込められています。みなさんも掃除をしながら、ただ部屋をきれいにするだけでなく、心をきれいにする、心をみがくことができるといいと思います。気持ちを込めて掃除を行うと、「ああ、やってよかったな。」「気持ちがいいな。」「きれいになってよかったな。」という気持ちになると思います。

さて、ちょっと空を見上げてみると、この頃星がよく見えます。今、一番探しやすいのはオリオン座だと思っています。オリオンというのは、ギリシャという国の昔話に出てくるとても大きい男の神様です。海の神様の息子なのだけれど、とても乱暴で困っていた大地の神がさそりを使ってオリオンを倒したというお話にもなっています。オリオン座は、このオリオンの体の部分を表している星が明るくてとてもよく見えます。左の肩と右の肩と右の膝と左の膝の4つと、ベルトのところに並んでいる3つの星ですぐに分かります。探しやすいので習い事などで少し遅くなった時や、お家の人と夜でかけた時に探してみてください。

日本でも、この星のつながりは昔から親しまれていて、3つの星を3人の神様とか神様が居る場所とかと考えていたそうです。ちなみに、戦国大名の毛利氏の旗印は、この3つの星から作ったものだそうです。一文字に●が三つついています。

今週もサッカーの表彰をしました。